

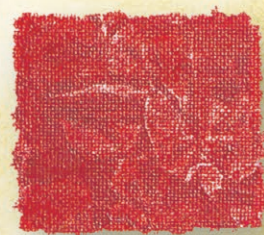
道
守

みちもり

MICHIMORI
TSUSHIN

通信

vol.49 秋号



巻頭インタビュー

緩やかな人のつながりの中で、
次の世代への継承を
垣下禎裕(九州地方整備局長)

みちづくし in のべおか 2025
延岡市の魅力を満喫

九州風景街道
テーマ別意見交換会

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄り、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。さあ、新しい道に一歩踏み出そう。



高千穂峡(宮崎県西臼杵郡高千穂町)

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー
緩やかな人のつながりの中で、次の世代への継承を
垣下禎裕(九州地方整備局長)
- 02 みちづくし in のべおか 2025
延岡市の魅力を満喫
延岡市のみどころ
- 04 みちづくし in のべおか 2025
道守九州会議交流会
- 06 みちづくし in のべおか 2025
現地体験学習
- 08 みちづくし in のべおか 2025
事例発表
- 10 わたしの好きな道
薩摩よりみち風景街道
岩元文一
- 11 私たちの道守活動
- 14 九州風景街道
テーマ別意見交換会
- 16 道守人物伝
- 17 道守たちのトピックス・横顔・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭 インタビュー

九州地方整備局
局長

KAKISHITA YOSHIHIRO 垣下禎裕

緩やかな人のつながりの中で、
次の世代への継承を

桑野 局長は九州の勤務が初めてと伺っております。22年続いているこの道守活動については、外から見られたことも含めてどのような感想をお持ちですか。

垣下局長 活動が始まって22年の積み重ねに、まずは敬意を表したいです。道は、そこにあるのが当たり前という感覚がある中で、この道を中心に地域に様々な活動を広げてきていることに改めて感謝を申し上げます。全国的に見ても、ここまで活発に活動されている地域はなかなかないし、裏を返すと、なぜ九州でできたのだらうというところは大変興味のあるところです。そのノウハウを教えてほしいですね。

桑野 熱い思いをお持ちのメンバーと、九州地方整備局と各事務所の一体感があつたこと、寄り添い方がよくよかつたからだと思います。

三原 道守活動や年1回の「みちづ

くし」で、上下関係なく接していただき、すごく盛り上がります。私たちボランティアと同じ目線で活動してくださり、サポートしてくれる体制が取れるのはどんな教育をされているのでしょうか。

垣下局長 職員が仕事にどう取り組むかという、道路だけでなく、河川も、その地域を支える仕事をしているという実感があるからだと思います。道路を整備し、修繕し、管理し、地域の皆様を支えるお手伝いをさせていただくということが我々のミッションなのです。多くの職員が、地域の皆さんのお手伝いをしたいという思いを比較的共通して持つているからだと思います。

桑野 道路に関わる分野に、道守をはじめ風景街道や道の駅の活動などがあります。大分で始めた「3つの輪」は、お互いが連携し、それぞれの持つっているものを、道を通して広げていくということなんです。九州全体をこれからどう演出し、創出するため、どんな活動があるのか、お考えを伺いたいです。

垣下局長 道守さんは九州で全体としてまとまっているので、このまとまりの中で色々な活動をさらに活発にしていくなは、新しいアイデアを考えて、どんどん連携を広げていくということが一番大事なところかなと痛感しています。

桑野 今までの九州はそれぞれの県が1つずつと言われてましたが、特にこの5年ぐらいで、お互いが分り合つて繋がつて、九州一体で連携するようになりました。

垣下局長 人と人とのつながりは、個人にとつても地域にとつてもすごく重要です。繋がることは道路の1つの目的ですので、繋がりを広げていただく活動のお手伝いをできていることは、我々にとつても大変光栄であります。

桑野 私は、由布院という町に住んでおり、国が観光立国を提唱し、訪日外国人旅行者数は3700万人、2030年には6000万人、消費額15兆円を目指しています。これから豊かな地域を味わってもらい、九州ではもっと広域的に進めていかなければと思つていますが、お考えなどを少し伺いできたらと思います。

垣下局長 本当におつしやる通りだと思います。この九州の東海岸・西海岸でも全然風景が違いますし、中部の阿蘇をはじめとする地域は独特の風景が広がっています。そうした多様な風景をめぐる周遊観光が1つの大きな魅力といえるでしょう。道路の果たす役割というのは非常に大きく、短期間で周遊していただける。それがひいてはその地域に色々な新しい賑わいをもたらしていく。今後は周遊していくような観光が重要な方向性のつになると考えます。

三原 私たちの道守は、高齢化や後継者をどうやって育てていくかなど課題があります。道守活動の継続や、期待をされることがあれば、教えてください。

垣下局長 世代交代をどうしていくか、次の世代にどう継承していくか、避けて通れない問題だと思います。世代が変われば新しいアイデアも出てくるでしょうし、色々な発展も期待されるのですが、どうやって新しい人に来てもらうかは道守に限らず多分大きな課題です。地元の新しい人やあるいは地域外に住む人達とも交流を広げていく中で、関心を持っていた人々を呼び込むことが重要だと思つています。こんな人口が減ってきている時代において、地域の中で全て完結させようとするのは簡単ではないので、緩やかな人のつながりの中で、新しい人を見つけていくことが必要になってくると思つています。

例えば、伝統芸能の世界や伝統産業だとか、様々な分野とのつながりを広げ、あるいは普段は福岡にいて伝いに来てくれるといったように、地域的にも広げられたらいいなというところがありますよね。

桑野 道守の強みは緩やかなつながりで、継続しているという形で次世代が参加できるし、道守の精神を持ちながら、みちづくしにプラスして



エネルギーシユでワクワクできる催しを一緒に考えていただけませんか。

垣下局長 そうですね、引き続き長いお付き合いをどうぞよろしくお願ひいたします。

■ 垣下局長プロフィール
かきた・よしひろ 大阪府出身。平成4年に建設省入省。国際協力機構インフラ技術業務部長、国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課長、大臣官房参事官(グローバル戦略担当)、首都高速道路(株)執行役員を歴任後、令和7年7月より現職

インタビュー

道守九州会議 副代表世話人
道守大分会議 代表世話人
桑野 和泉さん
道守佐賀会議 代表世話人
三原 ユキ江さん



10月23・24日開催

みちづくし in のべおか 2025 開催地

延岡市の魅力を満喫

延岡市は、日向灘に面し、九州山地から清流五ヶ瀬川の注ぐ自然豊かな都市です。また、五ヶ瀬川は12年連続「水質が最も良好な河川」となっております。古くは城下町として、現在は東九州を代表する工業都市として発展を続けてきました。平成18、19年の北方町、北浦町、北川町との合併を経て、九州の市では二番目の面積を有する市になりました。

延岡の大きな魅力は、アウトドアアクティビティの豊富さです。市の東側は日向灘に面し、美しいリアス式海岸が続きます。西側には比叡山や行徳山といった名峰がそびえ、市内を流れる五ヶ瀬川や北川などの清流は、カヤックやSUP、溪流釣りにも最適。快水浴場百選にも選ばれた下阿蘇海水浴場や須美江海水浴場では、夏にはキャンプや海水浴が楽しめる、都市の近くで本格的な自然体験ができるのが延岡の大きな強みです。

延岡の歴史と文化を学びたい方には、「延岡城・内藤記念博物館」があります。江戸時代、延岡藩を治めた譜代大名・内藤家に由来するこの博物館は、2022年に

美しい自然に囲まれながら行うカヌー体験
延岡の歴史と文化を学びたい方には、「延岡城・内藤記念博物館」があります。江戸時代、延岡藩を治めた譜代大名・内藤家に由来するこの博物館は、2022年に



ごあいさつ

九州各県の道守会員による交流会議「みちづくし in のべおか2025」が延岡市で盛大に開催されますことに、心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より道の清掃美化など多岐にわたる様々な道守活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

本市は、自然体験、食、神話・歴史、スポーツ、産業等、様々な観光資源を組み合わせて市全体としての魅力を発信し、実際に体験をしていただくことで、リピーターを増やすことも含めた観光振興施策を推進しております。

現地体験学習では、「自然体験」「神話・歴史」に触れられるコース、交流集会では「食」のイベントとして商店街アーケード内で料理を堪能していただけるよう用意されており、どちらも延岡の魅力を存分に感じていただけるものと期待しております。

結びに、今回の交流会及び交流集会が皆様にとつて実り多きものとなることを祈念して歓迎のあいさつに代えさせていただきます。

延岡市長 三浦久知



延岡の歴史を学べる延岡城・内藤記念博物館

リニューアルされ、延岡の歴史や暮らし、内藤家に伝わる美術品や古文書などがわかりやすく展示されています。館内では体験型の展示も多く、子どもから大人まで楽しみながら学べる施設として親しまれています。

そして、延岡といえばやはり「食」の魅力も外せません。市民に長く愛されてきたご当地グルメ「チキン南蛮」は延岡発祥であり、甘酢のみのシンプルなスタイルで楽しむものや、タルタルソースをかけて楽しむものなど、店舗ごとに個性があり、食べ比べも楽しめるのひとです。また、にんにくと唐辛子が効いたピリ辛スープに、そば粉と小麦粉を使い、こんにやくに似た食感が特徴の通称「こんにやく麺」と呼ばれる麺が入った「延岡辛麺」は、延岡の夜の締めとして人気を博し、今では全国にもその名を広めつつあります。



延岡発祥のご当地グルメ「チキン南蛮」

そして地元の酒造文化も魅力のひとつ。「延岡三蔵」と呼ばれる焼酎・日本酒・地ビールの蔵元では、試飲や見学も可能で、延岡ならではの味と香りを楽しむことができます。地元食材との相性も抜群で、延岡に求められた際はあなたにぴったりの一杯が見つかることでしょう。

さらに、延岡市は温暖な気候を活かし、さまざまなスポーツ活動が盛んな地域のため、「延岡西日本マラソン」や「ゴールデンゲームズ in のべおか」など全国規模の大会が開催されています。また、現在は西階公園野球場施設整備事業、県による新宮崎県体育館メインアリーナの整備など、2027年に本県で開催される「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会」を見越した大型施設の整備が着々と進められています。令和7年10月には大規模国際自転車ロードレース「ツール・ド・九州宮崎・大分ステージ」が開催予定であり、本市の強みや特色を生かした取り組みや施策を展開しているところです。

歴史・自然・文化・食・スポーツなどがバランスよく揃った延岡市。訪れる人にとっては新鮮な発見にあふれ、暮らす人にとっては誇りを持てるふるさとです。ぜひ、延岡のまちにお越しいただき、その魅力を五感で体感してください。



トップクラスの選手が出場する陸上大会「ゴールデンゲームズ in のべおか」

愛宕山

市街地を一望できる「愛宕山」は古くから「笠沙山」とも呼ばれ、天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出逢い結ばれたと伝えられるロマンあふれる場所です。標高251mの山頂からは、延岡市内や日向灘を一望でき、夕暮れや夜景の美しさは「日本夜景遺産」にも認定されています。山頂には恋人の聖地モニュメントや展望台も整備されており、自然と伝承が融合した観光名所として人気です。



日本夜景遺産に認定される愛宕山の夜景

鮎やな

延岡の秋の風物詩「鮎やな」は300年以上続く伝統漁法で、五ヶ瀬川に仕掛けられたやなに天然の鮎がかかる様子は風情があり、例年



延岡の秋の風物詩「鮎やな」

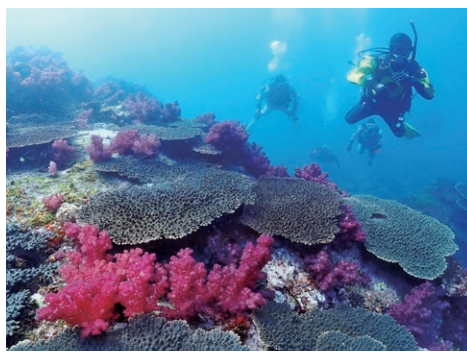


延岡市民に愛される鮎の塩焼き

多くの観光客が訪れています。また、鮎やな近辺に併設されている「かわまち交流館」は、期間限定で塩焼きなどの風味豊かな鮎料理を味わえる人気スポットで、延岡名物の「鮎やな」と「鮎料理」を一緒に楽しむことができます。

マリン アクティビティ

延岡市は「ひむか遊パークうみウララ」と呼ばれる北浦・南浦・島野浦エリア一帯が注目のマリンアクティビティの聖地。美しいビーチと透明度抜群の海、豊かなサンゴ礁、多彩な体験プログラムで、初心者から上級者まで楽しめます。



きれいなサンゴ礁や珍しい魚も鑑賞可能

延岡の見どころ

スケジュール

1日目

現地体験学習 開催日: 令和7年10月23日(木)

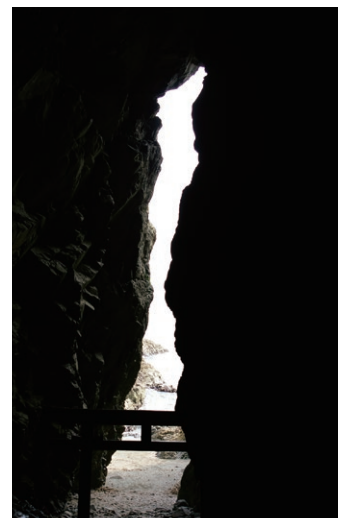
宮崎県の県北、3つの魅力あふれる地域の資源を検証します



A コース 延岡・歴史文化とクルージングコース



B コース 高千穂・神話と伝説のまちコース



C コース 日向・天領細島の旧街道と日向岬コース

参加費2,500円(昼食代・体験料・ガイド料・保険料含む) ※各コースで集合時間、集合場所が異なります。

交流集会

開始時間: 18時～20時30分(終了予定)
会場: 山下新天街 特設会場

※山下新天街振興組合の協力で地元商店街のアーケード内に特設会場を設置して開催します。
国土交通省が推奨する『ほこ道』体験を実施します。



2日目

道守活動

開催日: 令和7年10月24日(金) 8時15分～8時50分

九州の道守さん、大集合!!! 交流会の前にみんなで道守活動を実施します!!
みんなで道路清掃して、各県会議ごとのプランターに記念植樹

交流会

開催日: 令和7年10月24日(金) 9時20分～12時30分
会場: 野口遵記念館



ファシリテーター
根岸裕孝
宮崎大学教授

立場や地域を越えた協働による各県の事例を学び、意見交換を行う交流会を開催。道守功労賞、奨励賞の発表と授与式も執り行われます。後半は、道守みやざき会議代表世話人、根岸裕孝宮崎大学教授のファシリテーションによる登壇者と会場が一体となる意見交換会を開催予定。

プログラム

- 9:50～10:05 表彰式
- 10:15～11:25 道守活動報告・発表
- 11:25～11:55 意見交換会
- 11:55～12:10 大会宣言

宮崎県内で3度目の開催となる道守九州交流会の会場は、宮崎県の県北に位置する延岡市と、その周辺です。「東九州の産業の要」であり、化学工業で有名な企業城下町としての顔を持つ一方、豊かな自然が調和した魅力的な風景が印象的な、もう一つの顔を持ち合わせた魅力溢れる延岡地域が舞台となります。

海・山・川に囲まれ、サーフィンや登山などのアウトドアが楽しめる一方、古くは城下町としても栄え、延岡城跡などの歴史的スポットもあります。チキン南蛮やメヒカリの唐揚げといったご当地グルメも楽しめ、温かい気候と自然の恵みが楽しめます。

今回の『みちづくし』のテーマはズバリ『コエる』! 「空も海も山も川も・・・道でつながり、すべてをコエる」をキャッチフレーズに、地域や世代、立場

を越えた「連携」と「協働」の在り方を参加者みんなで考える機会を創出しようというものです。

今回の企画は、道守みやざき会議と国土交通省延岡河川国道事務所と宮崎河川国道事務所、それに延岡市、高千穂町、日向市の3つの市町の観光協会、宮崎県内の道の駅と、日本風景街道のメンバーによる実行委員会が結成され、準備に半年以上かけ議論してきました。派手なことは出来ないが、来場した九州の道守の皆さんが満足できるような手づくり感覚のおもてなしで秋の県北の2日間を堪能してもらおうという想いで準備してきました。

高度経済成長時代に作られた道路に埋設されている水道管の老朽化問題などをはじめとする、今後は増えていくであろう数々の課題に対して、一つのセクターでは対応しきれません。みんなで力を合わせる『道守活動』のような取り組みが、今後地域や世代を超えた取り組みこそ、私たちが次世代に継承していく智慧を生み出す契機となるはずだと信じています。天孫降臨の地が九州各地と高速道路で繋がる夢を加速するための集いとなることを願っております。

様々な垣根を越え、延岡の美味しい食を堪能し、体重も少し肥えて秋の宮崎を堪能してください。



「道でつながり、すべてをコエる」

みちづくし in のべおか 2025 (10月23・24日)

(会場 野口遵記念館)



- JR日豊線 延岡駅よりタクシーで10分
- 宮崎交通バス 宮崎交通バス延岡駅から大学行「市役所前」下車徒歩1分
- まちなか循環バス .. 「九電前・市役所西」下車徒歩1分
- 自家用車 宮崎方面より国道10号線を北上 東九州自動車道を北上(延岡ICより10分)
- 駐車場約280台 ※駐車場は近隣施設との共用駐車場となります。

10月23日(木)

みちづくし in のべおか 2025 現地体験学習

みちづくし in のべおか2025では、例年2日目に実施している現地体験学習を1日目に実施します。各コースについてご紹介しますので、ぜひ当日のご参考とさせていただきます。

各コース集合場所ご案内



A コース 集合場所: 城山公園北駐車場
住所: 〒882-0812 宮崎県延岡市本小路85-2

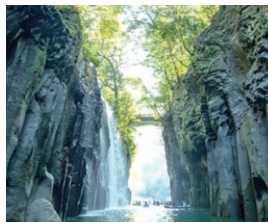


C コース 集合場所: 日向市駅南側高架下
住所: 〒883-0044 宮崎県日向市上町1-19



B コース 集合場所: 自然休養村管理センター駐車場
住所: 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井1498

B コース：高千穂・神話と伝説のまちコース



●高千穂峡

太古の昔、阿蘇山の火山活動によって噴出した火砕流が冷え固まり侵食された断崖がそそり立つ峡谷で、高いところで100m、平均80mの断崖が東西に約7キロに渡って続いており、昭和9年には「五箇瀬川峡谷」として国の名勝・天然記念物に、昭和40年には祖母傾国定公園の一部に指定されています。峡谷内には日本の滝百選に指定されている名瀑「真名井の滝」があり、高千穂峡のシンボルとなっています。

●高千穂神社 こちらでは「高千穂神楽」をご鑑賞いただきます。



手力雄の舞(たちからのおまい)
天照大神(あまてらすおおみかみ)が天岩戸(あまのいわと)にお隠れになったので、力の強い手力雄命(たちからのおみこと)が岩戸を取り除いて、天照大神(あまてらすおおみかみ)を天の岩屋より誘い出そうとする舞であります。



細女の舞(うずめのまい)
天岩戸(あまのいわと)の所在がはっきりしたので、天岩戸の前で面白くおかしき舞い、天照大神(あまてらすおおみかみ)を天の岩屋より誘い出そうとする舞であります。

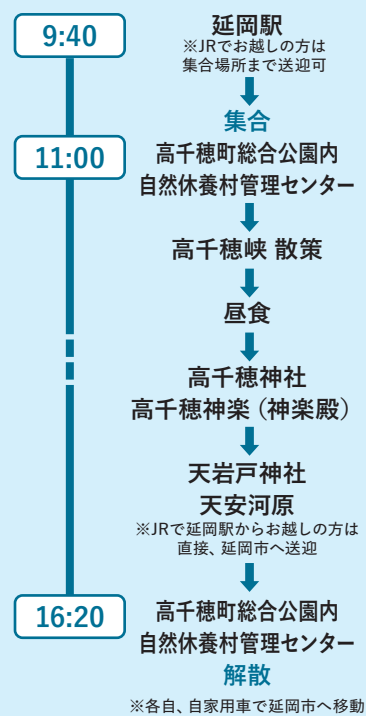


戸取の舞(とりのまい)
天の岩屋も岩戸の戸も所在がはっきりしたので、手力雄命(たちからのおみこと)が岩戸を取り除いて、天照大神(あまてらすおおみかみ)を迎え出す舞で、勇壮で力強く舞う舞であります。



●天安河原 (あまのやすかわら)

天岩戸神社から岩戸川に沿って徒歩で約10分、天照大神(あまてらすおおみかみ)が天岩戸にお隠れになった際、天地暗黒となり八百万(やおよろず)の神がこの河原に集まり神議されたと伝えられる大洞窟。以前は社のみがあり信仰の対象となっていたが、いつのまにか祈願を行う人たちの手によって石が積まれていくようになりました。現在では無数にある積まれた石が天安河原の神秘的かつ幻想的な雰囲気を一層引き立てています。



C コース：日向・天領細島の旧街道と日向岬 コース

日向市駅に集合していただきましたら、まずはランチです。市街地にあります「いけすの大漁や」では細島港などの定置網でその日水揚げされた新鮮な魚介類を味わうことができます。ランチが終了したら細島に向かいます。細島は江戸時代から天領の港町として栄え、数多くの文化財が残ります。中でも、庭園や山門が国の名勝に指定されている「妙国寺」で写経体験を行います。その後日向岬に移動し国の天然記念物に指定されている「日向岬の柱状節理」で有名な馬ヶ背、願いが叶うクルスの海を巡り、最後に国歌「君が代」に謳われる「さざれ石」や古代龍神信仰の形跡が残る大御神社へ向かいます。



●妙国寺で写経体験

妙国寺は室町時代開創期に名僧「日郷」によって創建されたといわれる日蓮宗の古刹で、米の山北麓の地形を生かした風光明媚な借景庭園や山門などが見どころです。こちらでは筆ペンを使った手軽な写経体験ができ、荘厳な仏堂で身心もリフレッシュできます。



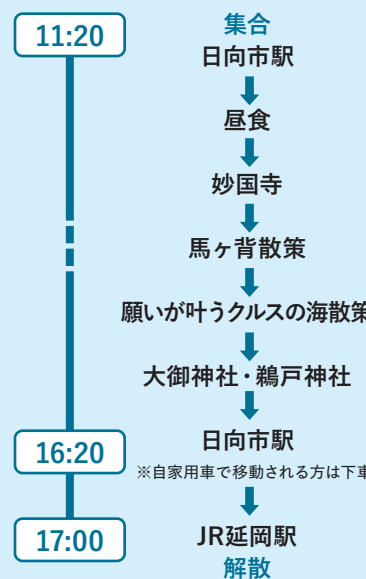
●大御神社

伊勢という地名から、地元では「日向のお伊勢さん」と親しまれている大御神社は、2015年に南アフリカ代表チームを破ったラグビー日本代表が直前合宿に必勝祈願を行ったことでも知られています。境内にはさざれ石や、古代の龍神信仰の跡と思われる様々な形跡が残り、スピリチュアルスポットとしても人気を集めています。今回は登り龍のシルエットでも有名な「鵜戸神社」も参拝しますので、ぜひ歩きやすい履物でお越しください。



●馬ヶ背

大分県の佐賀関から続く日豊海岸国定公園の南端部にあたる日向市。その中でも日向岬の絶景は随一です。特に高さ60メートルにも及ぶ柱状節理の断崖絶壁は圧巻。2022年にはガラス張り展望台「スケルッチャ」が設置され、よりスリルを味わうことができます。また日向市発祥で宮崎県を代表する香酸柑橘「へべす」を使用したへべすソフトクリームの試食も予定しています。



A コース：延岡・歴史文化とクルージングコース

延岡市は日本神話の息づく町として知られており、ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出逢ったとされる笠沙の御崎(愛宕山)やヤマトタケルノミコトが勝利を祝って舞ったと言う伝説のある地です。また、リアス式海岸に由来する豊かな海の幸でも有名で、上質な魚介類を求め多くの人が訪れます。今回は豊かな自然と歴史と神話を感じるとともに、新たに防災道の駅に認定された北川はゆまを見学するコースとなっています。



●北浦クルージング

独特な地形を織り成す日向灘の景色を海原から満喫できます。沖合にある島野浦、高島などの島々をめぐり、運が良ければ「千貫目」をくくる事ができます。

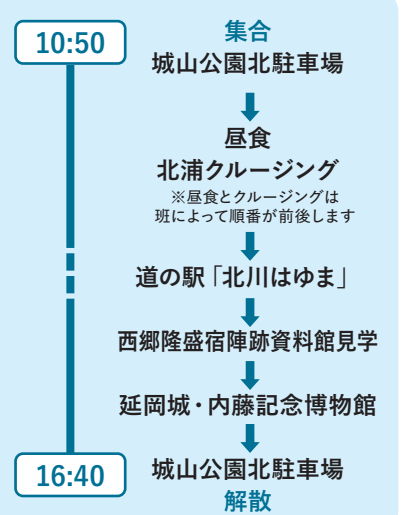


●西郷隆盛宿陣跡資料館

「和田越の決戦」に大敗北を喫した西郷隆盛軍が、北川に逃れた際に立ち寄ったゆかりの家です。現在は、資料館として整備され、隆盛愛用の遺品や戦争資料が展示されています。

●延岡城・内藤記念博物館

市制施行30周年となる昭和38年に、「内藤記念館」が建設され、郷土資料の保存や展示、諸会合の会場、歴史民俗資料館として、多くの市民の皆さんに親しまれてきました。しかし施設の老朽化が顕著となったことから、新たな博物館施設としての整備が進められ、令和4年9月23日に、名称も新たに「延岡城・内藤記念博物館」として開館しました。



「ふくおか会議」



道守おおむたネットワーク
代表
三原 くみこ氏

道守活動を通じたまちづくり

みちづくしinのべおか2025で掲げるテーマは、大牟田の未来を創る道守活動の羅針盤です。私たち道守おおむたネットワークは、地域や世代、分野の垣根を越え、市民の皆さんが手を取り合える持続可能な社会となるよう国道208号の植栽帯の除草や花植えなど、人と人とのつながりを大切にしながら日々の活動に取り組んでいます。

特におむた花街道プロジェクトは、その象徴的な活動の一つです。道端に咲き誇る花々は、道行く人々の心を和ませるだけでなく、活動を共にするボランティアの皆様の温かくつなぐ架け橋となっています。また、現在計画中の有明海沿岸道路大牟田インター高架下のフラワーパークでは「芋掘り体験」や、収穫したサツマイモを提供することで、子供たちに土に触れる喜びや食の尊さを伝える、「食育」の場になることでしよう。これらの活動を通じて育まれる「つながり」は、大牟田の大きな財産です。これからも、ボランティアの皆様と力を合わせ、地域が丸となって支え合う環境を整備し、活動を「継続」できる仕組みを創り、空も海も山も、道でつながる大牟田の未来を皆様と共に創り上げていけるよう、引き続き日々の活動に取り組んでいきます。

プロフィール・2013年 道守おおむたネットワーク設立／2018年 道守おおむたネットワーク代表世話人／2019年〜2024年 大牟田アイジライオンスクラブ役員

「大分会議」



九州旅客鉄道株式会社
大分支社 営業運輸課
成迫 邦彰氏

鉄道と国道が平行する「みち」の景観美化

令和7年6月7日（土）に、大分市にある国道10号線沿いの「道の駅たのうらら」周辺及びJR線のり面の伐採・清掃活動を行いました。

私にとって社外の皆さまと連携した景観美化活動は初めての経験であり、事前の準備や、特に行政への交渉や申請は思うように進まず苦労の連続でしたが、道守大分会議・木ノ下事務局長や大分河川国道事務所・松本課長からのお力添えを頂くことで乗り越えることができました。

活動を終え皆さまのお顔を拝見した時、この景観美化活動を実施することができて本当に良かったと心から思えました。

本活動の目的は「観光等で大分を訪れるお客さまに向けた「おもてなし」の環として、景観を整備するとともに、地域の皆さまと一緒に取り組むことで、景観美化活動の機運を高める。」ことです。今後も皆さまと連携し、より充実した活動を行ってまいります。

最後に、この活動を通じて出会うことができた多くの皆さまとの縁に感謝いたします。

プロフィール・営業販売として、商品の造成、イベントやキャンペーンの企画を担当。平成15年4月JRR九州入社。主に福岡エリアにおいて駅・車掌・運転士業務を経験後、人事部門・延岡駅・鹿児島中央駅の助役を経て現職。

「佐賀会議」



NPO法人唐津環境防災
推進機構 K A N N E
理事長
藤田 和歌子氏

コエつなぐ、虹の松原の未来

私たちは「人々の暮らしと自然環境の共生」を目指し2006年に設立しました。

唐津市の虹の松原は長さ4・5km、幅500mに100万本のクロマツが広がる国の特別名勝です。400年前に防風防潮防砂林として植えられ、時代を超えて唐津の人々の手で守り育まれてきました。かつては松葉や枯れ枝を燃料に利用し、美しい「白砂青松」の景観が保たれていましたが、生活様式の変化で景観は失われつつあります。

そのため2009年から多様な主体、そして幅広い世代と共に虹の松原の再生・保全活動を進めています。「イベント参加」と「アダプト参加」の2つのボランティア参加の方法を設け、年間7,000人以上が参加し、景観を守っていますが、まだ松原全体の25%にとどまっています。活動で集めた松葉や枯れ枝の地域での利用も進めています。それぞれの立場に応じた関わりを通して、環境保全だけでなく、社会基盤の整備や経済成長にもつながっています。

これにより、持続可能な地域づくりや参加者のウェルビーイングの向上にも貢献しています。

プロフィール・2006年NPO法人KANNE入社。2022年10月理事長就任／2024年より玄界灘風景街道パートナーシップ推進会議代表

「みやざき会議（延岡）」



延岡アースデイ
代表
佐伯 卓信氏

アースデイ三十一年が目指すもの

延岡アースデイの活動は令和七年で三十二回を迎えた。「母なる地球に恩返しをしよう」をコンセプトに公園・堤防法面の大規模な除草作業・塵拾い、命を育む広葉樹の山への植樹、荒れた山の適度な間伐整備、不法投棄場所の危険物・大型家電製品等の除去作業などを通して、人々に自然を愛する心を広めていく活動を三十年以上行っている。過去は五ヶ瀬川水系の高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、企業の大森等三千人以上の規模で行っていたが、コロナ禍で二度縮小してしまった。今後少しずつでも活動を広げていきたい。

「空も海も山も川も：道でつながり、すべてをコエる」はアースデイの活動そのものである。山が荒れば川が荒れる。川が荒れば、海が荒れる。近年線状降水帯を原因とした大規模な山崩れ、川に流入した大量の流木、海岸線を埋め尽くす漂着物。それらを市民が皆で一個でも綺麗にすれば、空海山川、そして道が綺麗になり、人々を繋げる。

延岡アースデイは人々に自然を愛する心を広めて、環境破壊を少しでも食い止める活動を目指します。

プロフィール・延岡アースデイ二十四回（三十二回実）行委員長／NPO法人ロード延岡市民応援隊理事長／GOKASE川遊び推進協議会会長／天下五ヶ瀬かわまち創ろう会会長

「長崎会議」



道守長崎会議
道海地区世話人
環境美化を考える会
代表
谷口 雅樹氏

100年でも200年でも続く活動へ

毎日の車通勤で、すぐ目に留まるのは道路脇や歩道の隙間に伸びる草。この前きれいに草刈りしたのに、もう立派に茂っている。こんなふうに見えるようになったのはいつからだろうか。私は今年で30歳になりました。高校を卒業してから始めたボランティア活動は、すっかり生活の一部です。地域の景観を守るこの活動は、単に草やごみを取り除くだけではなく、地域全体を明るく元気にする大切な役割を果たしていると私は思います。私は「環境美化を考える会」の二代目代表として活動を引き継ぐ際、この活動を100年経っても200年経っても続いている。そんな活動にしたいと強く思いました。

この活動を継続していくためには必要なのは、共に活動を行う仲間です。環境美化を考える会には元氣なおばあちゃん、おじいちゃん達がいいます。若者に負けないほどのパワーがあり、とても心強いです。これからもたくさんの方々に支えられていることを感謝して、楽しく元氣な地域を守っていききたいと思っています。そして活動の輪を広げていきたいと思います。

プロフィール・道守長崎会議道海地区世話人／環境美化を考える会の代表

「みやざき会議（宮崎）」



宮崎大学
地域資源創成学部
「地域経営論研究室」
根岸ゼミ8期生

大学生考案「道守×道の駅連携企画」

宮崎大学地域資源創成学部・根岸ゼミでは「あなたの1票で推しの道の駅をNo.1に！」「道の駅 絶景めぐりんカップ」を企画しました。本企画は、道の駅やその周辺の魅力ある景観写真をパンフレットに掲載し、来訪者が実際に複数の駅を訪問してスタンプを集めたうえで、「心を動かされた道の駅」に投票していただくものです。投票は各駅に設置された投票箱で行われ、集計結果は後日公表されます。これにより、食を中心とした従来の道の駅の駅企画から二歩進み、景観という新たな魅力に光を当てるとともに、県内周遊や未訪問の道の駅の来訪を促す効果が期待されます。さらに、投票結果を発表する「道一アワードフェス」の開催や、四季ごとに魅力を発信する写真展など、発展的な展開も構想されています。地域の自然や風景に目を向けてもらうことで、交流や観光誘致を促進する新しい取り組みとして注目されると期待します。

プロフィール・2024年8月始動／輪読により知識習得と並行し、第11回国土再生政策アカデミーin氷川や地域づくり団体全国研修交流会宮崎大会等に参加し、地域経営を観光という視点から学んでいる。

くまもと会議



道の駅阿蘇
駅長
下城 卓也氏

「ツールド九州応援ライド」でつながる地域と世代

道の駅阿蘇主催の「ツールド九州応援ライド」は、年齢や性別を問わず、サイクリストであれば誰でも無料で参加可能なイベントです。毎年10月に行われるツールド九州熊本ステージのコースの一部を利用し、6月から11月、計5回実施します。内容は、阿蘇のサイクルガイドがコースだけでなく、地域の見どころや観光スポット、食事処などを紹介し、参加者に阿蘇のファンになってもらうことを目指すと共に、九州最大の自転車レースを盛り上げることを目的としています。

さらに、参加者と共に毎回コースの清掃活動を実施しています。これは、選手や観客に阿蘇の美しい道を楽しんでもらいたいという思いから続けている取り組みです。さらに熊本と大分で連携し、コースの一部が含まれる「やまなみハイウェイ」の斉清掃活動にも参加しています。今年は10月4日（土）に阿蘇市役所、長者原、由布岳を起点に、多くの清掃ボランティア、企業、道路関係者、サイクリスト、トレッキング愛好家、写真愛好家が集まり、一斉清掃活動を実施する予定です。ご興味ある方は是非！

プロフィール・道の駅阿蘇駅長NPO法人ASSO田園空間博物館マネージャー。道の駅阿蘇を中心とした地域活性化に取り組む。九州沖縄道の駅駅長会会長。九州風景街道推進会議委員。熊本県自転車活用に関する有識者会議委員等を務める。

かごしま会議



鹿屋市札元商工親睦会
西ノ原 庄一氏

ばら通り220を通じ元気で明るいまちづくりを目指して

鹿屋市札元地区は、国道220号鹿屋バイパス（日13開通）の中心部に位置しており、開通以来急激な進展を見せ、今や市の中心部となっています。

当地区では、バイパス沿いのバラの植栽整備、沿線の草刈り、地区の遊休農地を整備し向日葵やコスモスの大輪を咲かせる活動、住宅地市道沿いのプランターによる花壇の整備活動を行っています。

作業は、土づくりや花植え、農機具の運転等に長けたビーバー隊、地元町内会、消防団、事業所と、子どもからお年寄りまで、老若男女問わず行っています。

特筆すべきは、本活動が単なるボランティア活動にとどまらず、地域住民の交流・親睦の深まり、地域コミュニティの向上に繋がっている点です。

今後とも220通りの花壇や遊休農地の向日葵などにより一層の愛着を持ちながら、大輪の様々な活動の花を咲かせてまいります。

プロフィール・札元商工親睦会事務局長／西文社印刷機代表取締役社長／元鹿屋市立寿北小学校PTA会長



全員写真

2025年6月、「JR九州大分支部」と「道の駅たのうららX道守」と「道の駅たのうららX道守」が連携し共同で草刈り活動を実施しました。今回の活動は、JR九州大分支部の久野支社長が「環境と景観を考慮する活動を市民の皆さんと一緒に進めたい」と呼びかけたことをきっかけに実現。別大国道の沿線やJR日豊線からの眺めをより良いものにしようと企画しました。取り組みのテーマは「地域に根ざした環境美化」と「鉄道・国道から見える風景を美しく」。

当日は、朝から「道の駅たのうらら」周辺に関係者が集合。JRが所有する高機能な草刈り機が出動したり、鎌を手に道路沿いや駐車場周辺の雑草を丁寧に取り除きました。参加者は汗を流しながら黙々と作業にあたり、作業後には長けた草が広がっていた場所がすっきりと整い、訪れる人々が快適に利用できる環境が整いました。

この活動は単なる清掃にとどまらず、別府湾の美しい景観を守るとい意味も大きい。列車や車から窓外に広がる風景が整備されることで、乗車している人たちに

道守大分会議 JR九州大分支部X 道の駅たのうららX道守 協働で草刈り活動

私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介します。



3号線とおれんじ鉄道が並走する薩摩西海岸



3号線と薩摩街道の交差点から長島を望む

わたしの好きな道

薩摩よりみち風景街道 ～夕陽と伝説が息づく西海岸編～

鹿児島県北西部を走る国道3号線沿い、肥薩おれんじ鉄道の薩摩高城駅から薩摩大川駅までの区間では、薩摩街道が並走し、東シナ海に映える夕焼けが旅情を誘う、私の好きな風景街道です。

薩摩街道は、江戸時代後期に薩摩藩から篤姫が徳川將軍家に嫁ぐ際に通った道筋が残り、潮騒に耳を澄ませば歴史の息吹を感じることが出来ます。

国道3号線から望む「人形岩」には、漁に出て遭難した夫を待ち続けた母と子を不憫に思った神様が三人を小舟に乗せた岩に変え、永遠に一緒にされたという伝説があり、今では周辺が侵食されて、夕陽に染まる頃、母と子の姿が黄金色に輝き、訪れる人の胸を打ちます。

薩摩高城駅隣のポケットパークの眼下には、平安時代に菅原道真公が政敵藤原時平の陰謀で大宰府から逃れ、藤川天神に辿り着いた「放ちの鐘」伝説が、また、沖合には恐竜化石の発掘で知られる甕島と獅子島があり、海と島々の眺望に包まれながら、太古の時代に思いを馳せることができる場所です。

現在、南九州西回り自動車道の建設が進められており、早期の全線開通が待たれます。私達はこれからも地域の未来を見据え、シーニックバイウェイとしての在り方を田島代表世話人とともに模索しながら活動が続けています。



家族愛の伝説が残る人形岩と夕焼け
『遭難した夫を待つ母と子』

プロフィール

岩元 文一 (いわもと・ふみかず)

- ・薩摩よりみち風景街道 会員
- ・湯田口20日会 会長
- ・映像集団薩摩川内 副会長
- ・株式会社アイ企画 代表
- ・株式会社アイテック 代表



大分

蒲江道づくりを考える女性の会(佐伯市)

花と笑顔でつなぐ道づくり

蒲江道づくりを考える女性の会は、東九州自動車道および地域道路の整備促進を女性の視点から支援し、蒲江地区の発展に寄与することを目的に平成14年に設立されました。世代交代を経て、新たなメンバーからも「車で走っても気持ちの良い道づくりを目指したい」といった前向きな声が上がっています。



黄色の花が可愛いハマボウの植樹。
今年度も11月頃植樹予定

原産のハイビスカスとも呼ばれる「ハマボウ」の植樹を実施。今後は蒲江のおもてなしの花として、道路沿いへの植栽を進めていく予定です。また、2023年から始まった大分県と宮崎県を繋ぐ日豊海岸を舞台にしたサイクルイベント「ツール・日豊」では、特産レモンを使ったシフォンケーキの振る舞いなどで、選手や地域住民へのおもてなしは好評をいただきました。今後とも「蒲江に来てよかった」と思っていただけのような、活動に花を咲かせていきます。



今年2月に行われた「ツール・日豊」にて、選手の応援と伊勢海老の被り物でシフォンケーキを配るおもてなし

(事務局 染矢裕紹)



道守みやまネットワーク（みやま市）

地域や道の駅と連携 情報交換で地域交流

令和5年2月10日、5団体・2企業が加入する「道守みやまネットワーク」を発足し、「できる人が、できる範囲で」を合言葉に、無理のない範囲で楽しく活動を続けています。

発足以来、道の駅みやまの皆さんや地域の方々と連携し『道の駅の日』に合わせて、総勢約60名程度で道の駅みやま周辺の斉清掃活動を実施しています。

日々利用する道路を自分たちの手で整えることで、地域の人々が協力し合い交流を深める大切な場にもなっており、環境美化にとどまらず『道を守る・地域を守る』ことに繋がっていると感じます。

今後も地域の方々、各団体、行政との協働で、『道守みやまネットワーク』の輪を広げ、多くの人が積極的に参加できるように仲間との繋がりを大切にし、次世代へ繋げたいと思います。



2025年の「道の駅の日」に集う



地域への愛着と誇りを育む清掃活動

（代表 河野理恵）



（株）中野建設（佐賀市）

感謝の気持ちを地域とともに

株式会社中野建設では、地域清掃活動を通じて、日頃よりお世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちをお伝えしています。「道守活動」の二環として、佐賀県内のさまざまな清掃ボランティアに積極的に参加しており、現在は「道守佐賀会議」の世話人として、来年開催予定の佐賀県でのみちづくしの準備にも取り組んでいます。

社員の清掃活動への参加者は年々増加しており、「道守」という活動への理解が深まるとともに、ボランティアへの意識も高まっています。活動は社員同士の交流の場にもなっており、社内コミュニケーションの促進にもつながっています。



地域への感謝を伝える清掃活動



清掃活動に集う皆さん

清掃活動の際に道路をじっくり見渡してみると、年々ごみの量が減少し、地域がより美しく保たれていることを実感します。これは、地域の皆様が日々道路を大切にされている思いの表れであり、私たちもその気持ちに応えるべく、今後も「建設業務を通じて公共の福祉に貢献する」というモットーのもと、地域貢献活動を継続してまいります。

（営業本部 主任 船木尚幸）



有明ボカシの会（島原市）

地域の環境問題への取り組み

本年度も生ゴミ減量の推進、地球温暖化防止運動ならびに地域の環境問題に取組む活動を行っています。4月・EM（有用微生物）石鹸作り、5月・こきぶり団子作り、6月・国道251清掃活動、6～7月・小学校への有機野菜作りの指導（9月大根種まき・12月収穫）、そして7月には会員栽培の有機野菜による10回目となる試食会を開催。当日の朝収穫の有機野菜をそれぞれ持ち寄って、公民館調理室で健康志向の料理20数種を用意しました。お客様として、日頃、会の活動に協力頂いている長崎河川国道事務所、島原振興局、島原市等の方々をお招きし、有機野菜料理を賞味頂きました。また6月には、地域環境保全の推進のため多年にわたり顕著な功績があったとして、環境大臣から「本年度地域環境保全功労者表彰」を受賞しました。今後とも会員一同元気に活動を進めて行きます。

（道守長崎 島原地区世話人 下田博）



学校菜園へ生ゴミ堆肥を入れ耕す



試食会の料理の一部



R251(有明海沿い)清掃活動



自然を愛する会（南小国町）

豊後街道の枝落としや草刈り

令和7年7月30日（水）、二重峠（車庫交差点から七里木跡前駐車場まで豊後街道の枝落としや草刈り、ゴミ拾い活動を行いました。二重峠石畳は有名ですが、車庫交差点から大津方面に向い石畳があります。炎天下でしたがこの時期に行うのには2つ理由があります。1つは、樹林帯の中なので直射日光は無く比較的涼しく活動できること。もう一つは毎年、豊後街道を125キロ歩く子ども達が安全に通れるようにです。参加交代は毎年8月15日に熊本城をスタートし、大分県大分市から6日間で125キロを歩く移動型のキャンプです。NPO自然を愛する会（ジュニア・アウトドア・クラブ）（代表・齊藤誠治、理事長・阿南大吉）が募集し、大学生ボランティアリーダーが企画運営を行います。小学3年生から中学3年生までの子ども達が参加し今年も子ども103名・スタッフ38名で熊本城にゴールしました。生憎古道を歩く直前、スコール

にあい足元が滑りやすかったので車道を下りましたが、石畳は籠の殿様が快適な様に大きな石しか使われていません。清掃活動で歴史を感じることが出来ました。



参加交代ー快晴のなか、良い汗を流せました！

（道守くまもと
会議 事務局
阿南大吉）



（株）コバルト技建（宮崎市）

道を守り、地域とつながる 私たちの道守活動

宮崎での道守活動は、平成28年より参加させていたきております。当時の社長の発案により「少しでも地域に貢献を」という思いから、スタートしたものです。

当社では、宮崎県だけでなく鹿児島県および熊本県の道守活動にも参加しており、主に熊本地区は八代市、鹿児島地区は鹿児島市、大隅地区は鹿屋市・垂水市、宮崎地区は宮崎市・都城市の計4地区8市において、それぞれ年1回以上の活動を目標に、10～20名程度の社員が参加し、国道の歩道部やパーキングエリアなどで除草及び清掃作業を行っています。

今回掲載している写真は、宮崎220号の青島パーキングエリア（上下線）での活動の様子です。この日は天候にも恵まれ、10月にもかかわらず暑い一日となりましたが、熱中症対策を講じながら、参加者全員が気持ちの良い汗を流すことができました。

私たちの活動が、わずかながらでも地域のお役に立てるように「道」に携わる企業として、これからも継続を力に変えて、道守活動に取り組んでまいりたいと考えています。

（常務取締役 山下剛）



青島パーキングでの道守活動



参加者全員が良い汗を流せました！



副田キッズボランティアチーム（薩摩川内市）

道守キッズチーム誕生

「副田キッズボランティアチーム」道守活動に参加した子どもたちが付けた名前です。ここに新しく子ども

道守活動チームが誕生しました。メンバーは、3歳の園児から小学6年生の15名とその保護者です。花育の環として、2023年のかこしま国体、選手のおもてなしとして「一緒にプランターへ花植えをしたことが始まりでした。今年度は連日猛暑が続く、日程・時間設定に苦慮していましたが、保護者と検討し夏休みのラジオ体操後に開催することになりました。園児と低学年はプランターの花植え、高学年は国道沿の花壇の草取りから花植え作業を行いました。車道へ出ないよう注意喚起、セフティコーンを設置する等安全対策を講じました。

乾燥した土の草は根が固く大人でも容易に取れませんでしたが、子どもたちは上手に掘り起こし草を取り除いていました。花苗も、間隔を取りきれいに配置も考えて植えることができました。花が育つには水やりが大事と伝えると、「塾の帰りに僕が来る」との頼もしい意見も出ました。また、「気持ち良かった。またしたい」との感想もあり、思いのほか子どもたちの能力、やる気に驚き、喜ばしいかぎりでした。

世代を超え、次の時代へと繋げてきた道守活動。これからの未来を担う若い世代へ繋げていきたいと思ひます。



花植え体験後の集合写真

（事務局 田島直美）



好きな花を選んだ「私のプランター」

テーマ別意見交換会とは

九州風景街道の各ルートが抱える課題などについて、テーマを設定し課題解決に向けた意見交換を行う取り組みです。令和6年度は4テーマについて意見交換しました。本稿ではその様子をお知らせします。

1 歴史街道・宿場町歩きによる地域風景の再発見

【開催日】2024年8月19～20日
【開催地】九州横断の道 阿蘇くまもと路

「自分の足で歩いて、地域の記憶に触れる」。街道の歴史や成り立ちを語り部の皆様より伺いながら、坂梨宿の宿場町や、江戸時代の参勤交代ルート・二重峠の石畳を参加者が実際に歩きました。併せて、子どもたちが1週間かけて125kmを踏破する挑戦である「九州横断徒歩の旅」を視察。これは歩くことで地域の自然・歴史・人の思いを五感で感じ取る教育的活動であり、40年以上続く伝統行事です。車座談義では、町歩き活動に取り組むルート参加者から「風景は自分の生き様を映す鏡」として風景街道の価値が語られ、これから先は若者に対して門戸を広げ受け継いでいく必要性が再認識されました。



子供たちを応援するとともに、風景街道メンバーも元気をもらおう



江戸時代の武士が参勤交代で通った道に想いを馳せ、1歩ずつ登る



無事踏破 疲労感と爽快感

2 環境・景観の維持管理や資源の活用について考える

【開催日】2024年10月2日
【開催地】玄界灘風景街道（福岡市・けやき通り・糸島市ほか）

「花を植えるだけではない」。花壇整備を通じて商店や学校と連携を図って子どもたちと共に通りの清掃を行い、地域の誇りと景観の継承に取り組む玄界灘風景街道の活動を視察しました。車座談義では、九州各地で植樹や花植をテーマに活動するルートの活動報告や「どうやって若者を巻き込むか?」「資金はどう確保するか?」といった悩みも率直に共有され、課題解決のための方策や仕組み、風景街道として活動するメリットなど議論が発展しました。



一人一花活動



国道道路 花いっぱい運動

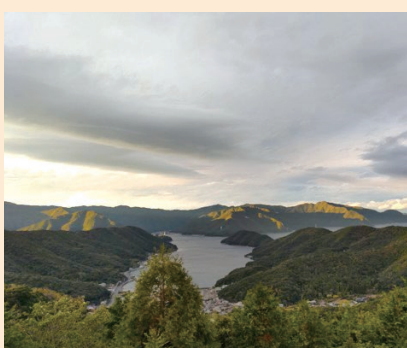


風景街道ブランドを活用して地域活動を後押し!

3 地域資源を活かした地域振興

【開催日】2024年11月26～27日
【開催地】日豊海岸シーニック・バイウェイ

「地域の魅力は、目の前の風景にある」。日豊海岸シーニック・バイウェイでは、食・観光等の地域資源を活かした様々な活動が展開されています。道の駅北浦では、最高のロケーションと上質な設備を誇る下阿蘇海岸（延岡）が注目され、たかひら展望公園からは海岸線の絶景が一望。蒲江浦では、伝統の漁村文化と景観が融合した街並みを体感しました。車座談義では、「持続可能な活動のためにも、地域資源を守りつつ地域で稼ぐことが必要」「小さなころから郷土愛を育むことで地域に根付いた人材が育つのではないか」との声が多く上がり、次世代へ語り継ぐ必要性が共有されました。



上空からは、海岸線が星に見えるたかひら展望公園



下阿蘇海岸の清掃活動には約130名が参加



横の連携、世代を超えた縦のつながりを形成し、持続可能な活動へ

4 九州西海岸共通の風景「夕陽サンセットロード」の3県連携

【開催日】2025年1月23～24日
【開催地】薩摩よりみち風景街道

「人の心を動かす西海岸の魅力“夕陽”」。鹿児島・熊本・長崎の3県が連携し、「夕陽サンセットロード」という共通資源や、薩摩よりみち風景街道独自の風景について、再評価に取り組みました。黒之瀬戸大橋の絶景、人形岩の伝説など、地域のストーリーが風景に深みを加える様子を体験。出水市では、ツルの越冬地を地域ぐるみで守る姿に感動の声が上がりました。車座談義では、「夕陽などの地域資源をどう伝えるか?」という問いに対し、「背景を“翻訳”する力が必要」という意見もあり、「風景街道の活動に重要となるのは、地域を元気にしつつ風景に反映される人々の暮らしを活性化させる事だ」という気づきが得られました。



ツルの生活圏を囲うようにネットが貼りめぐらされている



美しい砂浜は日々の清掃活動の賜物



美しい風景を守るためにも風景街道として地域活性化に寄与!

あ と が き

4つのテーマ別意見交換会を振り返り、すべて共通して見られたのは、「地域資源を守る、磨く、活かす」ことが「人と人、地域と地域のつながりを育てる」ことにつながっているという点です。「ミチ」は、地域の物語や営みの舞台ですが、風景街道の主役は活動する「ヒト」であると実感する取り組みでした。一方で、持続可能な活動のためには、伝承や資金調達などの課題も示されました。地域資源を守る、磨く、活かす活動に懸命に取り組む先人達がたくさん居て、その熱い想いを多くの人に知ってもらいたい。改めて、事務局の使命として感じ入ります。

道守たちのトピックス

福岡 けやき通り 33%の植え替え完了

緑化推進運動功労者
内閣総理大臣表彰を受けて



緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰式

「けやき通り発展期成会」は平成5年に設立されました。けやき通りの環境の保全及び美化を行うことを主たる目的としたボランティア団体で、清掃やプランターの季節の花の設置、小学校での啓蒙授業、街の散策マップの製作、けやきのライトアップ等を行っています。

道路の美化・清掃や花植などに加え、新しい建物が建設される際には、事業者向けにけやき通りの景観保全の経緯をご説明して、「建物の色を揃える、塀をつくらない、素通しのシャッター」等のご協力を頂いております。

赤坂小学校では環境啓蒙の授業や記念植樹を毎年行っており、現在、けやき通りの約33%のけやきの植え替えが完了しました。また、小学校の卒業生が警固中学校でボランティアの清掃活動を行うなど、環境保全の活動が継続して行われるようになりました。

このような活動を評価していただき、令和7年4月25日、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受けることができました。

今後とも良好な街並みを保全して、未来の子供達に受け継いでいきたいと願っております。

(けやき通り発展期成会会長 大井実)



花植え



植樹(植え替え)



ごみゼロ点検行動日の活動状況



糸島市表敬 集合写真

(ごみゼロ青春探検隊いとしま 呼びかけ人 酒井忠彬)

ふるさと環境学習
褒めます・叱ります・一緒に行動します。
子供たちから、いつも元気をもらいます。

平成10年夏より主に国道202号沿いを拠点として、活動を開始しました。活動としては、糸島市内の道路・河川・海岸・公園・学校・公民館・JR駅周辺などにおいて、ごみゼロ点検行動日と称してごみ拾い等の清掃活動を続けてきました。また、周辺の小、中学校で教育活動の一環として環境学習にも取り組んできました。このような活動を評価していただき、令和7年5月20日、「緑綬褒章(社会奉仕活動功績)」を受けることができました。

発足当初のメンバーや差し入れなどの協力をしてくれる市民の方々に感謝の気持ちでいっぱい입니다。今後とも糸島市民、福岡県民、九州ブロックとしてみんなで美しいまちづくりに精進していきたいと思ひます。また、これからは「できることを・無理せず・楽しく・仲良く・いきいきと活動を続けること」をモットーとして取り組んでまいります。

福岡 ごみゼロ青春探検隊いとしま

「緑綬褒章(社会奉仕活動功績)」を受賞

わたしの道守活動ー輪を広げて30年ー みちづくし参加が楽しみー

道守くるめネットワーク 顧問 原口与三吉氏

わたしは、約30年前から道路美化のボランティア活動を行っています。

最初に道路の美化活動を意識したのは、都城市の国道10号で道路の植栽帯やプランターに季節の花が植えられているのを見たときです。その後、自宅近くに新しく道路が整備されたことをきっかけに道路清掃のボランティアを始めました。

平成15年からは、道路横につくった花壇に花を植え、水やりや草取り等の花のお世話を続けています。わたしは、サルビアやマリゴールド、ニチニチソウ、パンジーの花を好んで植えています。マリゴールドは、こぼれ種から苗をつくることもあり、たくさん花苗ができた時は他のボランティアの人に差し上げることにもなっています。

「道守くるめネットワーク」は、平成28年2月に発足しました。発足前に、柳川市で行われた「みちづくし」に参加し、九州、特に福岡の県南地区での道守活動を知ったことがきっかけです。最初は8団体から始まり、道守の輪を広げたいという思いから、代表として地道に声掛けを行い、今では、22団体となっています。現在は、若い人に代表を譲り、顧問として参加しています。わたしの思いを引き継いだ若い人達が活躍し、道守の輪が広がっていることは大変嬉しいことです。また、道守団体を立ち上げるきっかけになった「みちづくし」への参加を毎年楽しみにしています。

これからも道守活動を通して、いろいろな人と交流しながら、できる活動が続いていきたいと思います。



道守活動中の原口氏



永年お世話している花壇

横顔

九州地方整備局 道路部長

福井 貴規氏



道守の皆さんの継続的な活動に対して、感謝申し上げます。道守活動では官民の垣根を越えて共に楽しみながら出来たらと思っています。

今年度、『みちづくし』は延岡で開催されると聞いており、参加できることを心より楽しみにしております。今後皆様と共に道守活動の維持、向上に向け歩みを進めて参りたいと思ひます。

道守通信 編集後記

○今年のみちづくし大会は宮崎県延岡市で10月23日と24日に開催され、23日に現地体験学習をバス4台で延岡・高千穂・日向の見所満載コースが予定されています。

24日はみんなで花植え体験して交流会を始めます。今回のテーマは、「道でつながり、すべてをこえる」各県からの報告に加え、小学生や高校生、大学生も多数参加します。賑やかなみちづくしを堪能いたします。

○巻頭インタビューは、7月に着任された垣下局長を訪ねました。九州勤務は初めてのようですが、インタビューの二人と和やかなインタビューになりました。みちづくしに参加いただきますので、道守さん達は是非、交流を深めて下さい。

読者の皆様からご意見をいただき、紙面を充実させたいと考えています。以下の二次元コードよりたくさんのご意見をお寄せください。



～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

一般社団法人 九州地域づくり協会	九州国道協会	(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部
一般社団法人 日本道路建設業協会 九州支部	一般社団法人 大分県建設業協会	一般社団法人 佐賀県建設業協会
一般社団法人 鹿児島県建設業協会	一般社団法人 熊本県建設業協会	一般社団法人 長崎県建設業協会
一般社団法人 福岡県建設業協会	一般社団法人 宮崎県建設業協会	大分県道路利用者会議
株式会社大林組 九州支店	鹿児島県道路利用者協議会	鹿島建設株式会社 九州支店
九州電力株式会社	熊本県道路利用者協会	建設サービス株式会社
佐賀県道路愛護協会	清水建設株式会社 九州支店	大成建設株式会社 九州支店
長崎県道路協会	長幸建設株式会社	西日本高速道路株式会社 九州支社
日新興業株式会社	福岡北九州高速道路公社	福岡県道路協会
福岡市道路利用者会議	宮崎県道路利用者協議会	株式会社九州建設マネジメントセンター
九州技術支援協議会	株式会社熊谷組 九州支店	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	小田開発工業株式会社	サンコーコンサルタント株式会社 九州支社
日本振興株式会社 九州支店	アイレック技建株式会社 九州支店	旭建設株式会社
朝日テクノ株式会社	株式会社 新井組 九州支店	株式会社安部日鋼工業 九州支店
株式会社安藤・間 九州支店	株式会社アジア技術コンサルタンツ	株式会社アップス
朝日工業テクノス株式会社	朝日開発コンサルタンツ株式会社	いであ株式会社 九州支店
鳥城塗装工業株式会社(九州支店)	Fe石灰技術研究所	NTTインフラネット株式会社 九州事業部
株式会社エスケイエンジニアリング	株式会社エンジニアプランニング	株式会社エイト日本技術開発 九州支社
株式会社エスイー 九州支店	扇精光コンサルタンツ株式会社	大分瓦斯株式会社
大分県建設業協会 大分支部	大分県道路舗装協会	株式会社荻島組
株式会社オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	株式会社岡崎組 勝盛会	鹿児島土木設計株式会社
株式会社柏木興産	株式会社片平新日本技研 福岡支店	株式会社カンドー
上内電気株式会社	川田建設株式会社 九州支店	株式会社ガイアート 九州支店
一般財団法人 橋梁調査会	九建設計株式会社	九州建設コンサルタント株式会社
九州地区道路利用者会議	九州みちの会	協同エンジニアリング株式会社
株式会社橋梁コンサルタント 西日本支社	株式会社九州開発エンジニアリング	九州環境管理株式会社
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部	株式会社建設環境研究所 九州支社	株式会社建設技術研究所 九州支社
株式会社建設技術センター	株式会社建設技術コンサルタンツ	株式会社鴻池組 九州支店
株式会社国土開発コンサルタント	株式会社コバルト技建	コアツ工業株式会社
株式会社駒井ハルテック 九州営業所	一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会	株式会社サタコンサルタンツ
株式会社西海建設	株式会社島田設計コンサルタント	株式会社親和コンサルタント
新成建設株式会社	株式会社新日本技術コンサルタント	昭和コンクリート工業株式会社 九州支店
JR九州コンサルタンツ株式会社	株式会社ジャストエンジニアリング	株式会社末宗組
株式会社西部技建コンサルタント	株式会社センコー企画	株式会社そよかぜ館(「道の駅大和」)
有限会社測量企画センター	株式会社総合技術コンサルタント 九州支店	瀧上工業株式会社 福岡営業所
多久市そうじの会(多久の未来を創る会)	宅島建設株式会社	谷川建設工業株式会社
株式会社高山組	株式会社玉の湯	太陽技術コンサルタント株式会社
第一生命保険株式会社 佐賀支社	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 九州支社	大福コンサルタント株式会社
株式会社長大テック 福岡支店	中央コンサルタンツ株式会社 福岡支店	株式会社長大 福岡支社
通信土木コンサルタント株式会社 九州支店	株式会社友岡組	株式会社東豊開発コンサルタント
株式会社友岡建設	東急建設株式会社 九州支店	東洋技術株式会社
戸田建設株式会社 九州支店	利光建設工業株式会社	株式会社地域科学研究所
株式会社東亜コンサルタント	株式会社東京建設コンサルタント 九州支社	株式会社 中村緑地建設
南生建設株式会社	株式会社名村造船所 福岡営業所	株式会社西九州道路
株式会社西田技術開発コンサルタント	株式会社日建コンサルタント	西日本建技株式会社
西日本コンサルタント株式会社	西日本コントラクト株式会社	日本乾溜工業株式会社
日本工営株式会社 福岡支店	日本地研株式会社	西日本技術開発株式会社
日鉄鉱山コンサルタント株式会社 福岡支店	株式会社野村建設	葉隠会道守部会
株式会社萩原技研	パシフィックコンサルタンツ株式会社 九州支社	株式会社東九州コンサルタント
株式会社日高本店	ピーエス・コンストラクション株式会社	福地建設株式会社
復建調査設計株式会社 九州支社	株式会社福山コンサルタント	株式会社富士設計
株式会社富士ピー・エス	株式会社ぶげん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)	株式会社丸福建設
前田建設工業株式会社 九州支店	松尾建設株式会社	松本技術コンサルタント株式会社
株式会社三原建築設計事務所	宮崎空港ビル株式会社	宮地エンジニアリング株式会社 福岡営業所
株式会社宮崎産業開発	株式会社水野建設コンサルタント	村本建設株式会社 九州支店
八千代エンジニアリング株式会社 九州支店	株式会社ヤマウ	株式会社ヤマックス
株式会社横河ブリッジ 福岡営業所	龍南建設株式会社	株式会社 日本ピーエス 九州支店
トミナゴーポレーション株式会社	株式会社ウエスコ 九州支社	株式会社晃和コンサルタント
個人会員60名		



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号
令和7年10月発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目10番7号
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/>

■(一社)九州建設技術管理協会内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

e-mail michi-kima@kyugikyo.or.jp